

ぐんま緑の県民基金事業について(総括表)

1 趣旨

豊かな水を育み、また災害を防止するなど、私たちの暮らしを支え、多くの恵みをもたらす森林は、県民共有の財産である。

この大切な森林を守り、育て、次世代に引き継いでいくため、平成26年度から導入した「ぐんま緑の県民税」を財源とする「ぐんま緑の県民基金」を活用し、次の目標に向けて、様々な対策に取り組む。

2 目指すべき目標

- ◆豊かな水を育み、災害に強い森林づくり
- ◆里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造

3 事業の内容

金額:千円

区分	事業内容	H30予算			R1 予算 (当初)	担当課	
		実績	繰越	計			
水源地域等の森林整備		413,169	221,306	634,475	570,686		
条件不利地 森林整備	地理的、地形的な条件により林業経営が成り立たず放置されている条件不利な森林の間伐等を実施	事業区域調査委託				H30 林政課 ↓ R1 緑化 推進課	
		実施調査委託	228,825	42,017	270,842		461,700
		森林整備の実施					
水源林機能増 進	簡易水道等の上流部の森林で水源涵養機能等の低下が懸念される森林を整備し、水源涵養機能を増進	事業区域調査委託					
		実施調査委託	127,710	162,718	290,428		66,000
		森林整備の実施					
松くい虫 被害地の再生 ↓ 松くい虫等 被害地の再生	松くい虫被害木が放置され、笹竹が繁茂した森林をコナラやスギなどの森林に再生 ※令和元年度より気象被害地も対象に追加	事業区域調査委託					
		実施調査委託	56,630	16,571	73,201		42,106
		森林整備の実施					
事務費		4	—	4	880		
ボランティア活動・森林環境教育の推進		14,084	—	14,084	13,829		
ボランティア活 動の推進	ボランティア情報の収集と提供、指導や資機材の貸出など一体的なサポートを行う森林ボランティア支援センターを整備	HP(モノワ)の運用 安全講習会 ボランティア体験会開催 森林整備作業器具の貸出し 情報誌、メルマガによる情報提供	9,198	—	9,198	10,883	緑化 推進課
森林環境教育 の推進	森林環境教育を推進するため、専門知識を有した指導者を育成	指導者養成講座(基礎講座、経験者講座) フォローアップ研修	4,886	—	4,886	2,946	
市町村提案型事業	地域の実情に合わせ市町村やボランティア団体等が取り組む事業を支援	①荒廃した里山・平地林の整備 ②貴重な自然環境の保護・保全 ③森林環境教育・普及啓発 ④森林の公有林化 ⑤独自提案事業	183,258	34,260	217,518	280,000	H30 林政課 ↓ R1 緑化 推進課
制度運営		3,318	—	3,318	14,786		
普及啓発	ぐんま緑の県民税への理解を深めるため、税のしくみ、森林の役割や大切さの普及啓発活動を実施	各種説明会の開催、各種広報媒体の活用、事業地等をバスで巡る現地説明会	1,696	—	1,696	6,047	H30 林政課 ↓ R1 緑化 推進課
評価検証	事業の内容検討・実績評価・効果検証などを行う第三者機関を運営	ぐんま緑の県民税評価検証委員会開催	437	—	437	726	
	事業の客観的な効果検証を行うために必要な調査・分析	間伐前と間伐後の森林の状況を調査し、事業の効果を検証(20カ所)	1,185	—	1,185	—	林業 試験場
調査研究	下層植生の早期回復等を図るための間伐率等の調査・研究		—	—	0	1,410	林業 試験場
賦課徴収負担	市町村において、納税通知書にチラシを同封することに伴い増加する郵便料金・封入費用の実費相当額を負担		—	—	0	6,603	税務課
計		613,829	255,566	869,395	879,301		